

JAごしょつがる 小麦栽培こよみ

月	旬	作業	栽培の要点																																																																																							
8	下	畔塗り 明 渠	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">圃場の整備</div> <p>畔塗り：畦畔を見回り、割れ目・ヒビが目立つところや、ネズミ・モグラなどによる穴があるところに畔塗りをを行う。</p> <p>明 渠：ほ場周囲に深さ 30cm 程度の排水溝を掘る。溝が浅くなったところは掘り直す。</p> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">土づくり</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>資材名</th> <th>施用量 (kg/10a)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土壌改良材</td> <td>粒状苦土石灰 M-10</td> <td>100</td> <td rowspan="2">小麦は酸性土壌を嫌うため、石灰質資材を必ず施用する。 元肥目安として 7~8 kg/10 a とする。</td> </tr> <tr> <td>基肥</td> <td>ゴールドワン 555</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>耕 起：は種の精度や除草の効果、出芽揃いを良くするために、耕起は丁寧に行い、整地を均平にする。</p> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">播 種</div> <p>(1)種子処理 病害対策として、は種前に種子に粉衣処理を下表のとおり行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>使用資材</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雲形病・条斑病・なまぐさ黒穂病・裸黒穂病・斑葉病</td> <td>ベンレート T 水和剤 20</td> <td>粉衣 乾燥種子重量の 0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)は種時期 9月下旬を目安に線状に播種する「ドリル播き」で 10a 当たり 9kg 播く。</p> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">除草剤散布</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用時期</th> <th>処理方法</th> <th>除草剤名</th> <th>対象雑草</th> <th>薬剤量 (10a 当)</th> <th>散布液量 (10a 当)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕起又はは種前 ※は種前に雑草が目立つ場合</td> <td>茎葉処理</td> <td>タッチダウン iQ</td> <td>イネ科、広葉</td> <td>250~500 ml</td> <td>25~100ℓ</td> </tr> <tr> <td>は種後出芽前</td> <td>土壌処理</td> <td>ボクサー</td> <td>イネ科、広葉</td> <td>500 ml</td> <td>100ℓ</td> </tr> <tr> <td>雑草生育初期 (穂ばらみ期まで)</td> <td>茎葉処理</td> <td>アクチノール乳剤</td> <td>イネ科、広葉</td> <td>100~200 ml</td> <td>100ℓ</td> </tr> <tr> <td>収穫 45 日前まで</td> <td>茎葉処理</td> <td>バサグラン液剤</td> <td>広葉</td> <td>100~200 ml</td> <td>100ℓ</td> </tr> </tbody> </table> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">追 肥</div> <p>(1) 消雪後追肥</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用資材名</th> <th>施用量 (チッソ成分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硫 安</td> <td>10kg/10a (2.09kg/10a)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 出穂前追肥(5月上旬)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>主要資材名</th> <th>施用量 (チッソ成分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>硫 安</td> <td>10kg/10a (2.09kg/10a)</td> </tr> <tr> <td>尿 素</td> <td>5kg/10a (2.3kg/10a)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基肥一発体系の肥料を施用済みの場合、追肥は行わない。</p> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">病虫害防除</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>防除時期</th> <th>対象病虫害</th> <th>薬剤名</th> <th>倍数</th> <th>散布液量 (10a 当)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11 月中~下旬</td> <td>紅色雪腐病・雪腐小粒菌核病</td> <td>オキシンドー水和剤</td> <td>400 倍</td> <td>100~200ℓ</td> </tr> <tr> <td>発生初期</td> <td>うどんこ病・赤さび病</td> <td>ストロビーフロアブル</td> <td>2,000~3,000 倍</td> <td>60~150ℓ</td> </tr> <tr> <td>出穂期前後</td> <td>アブラムシ・アワヨトウ</td> <td>スミチオン乳剤</td> <td>1,000 倍</td> <td>60~150ℓ</td> </tr> <tr> <td>開花始め</td> <td>赤かび病</td> <td>トップジン M 水和剤</td> <td>1,000~1,500 倍</td> <td>60~150ℓ</td> </tr> <tr> <td>上記防除の 7 日後</td> <td>赤かび病</td> <td>トリフミン水和剤</td> <td>1,000~2,000 倍</td> <td>60~150ℓ</td> </tr> </tbody> </table> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">収 穫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂日数 46~50 日、出穂後積算気温 830~950℃ ・穂を手のひらでもむと脱粒し易く、つめで割れにくくなった頃。 ・水分が 28%以下を確認して刈り取る 	種類	資材名	施用量 (kg/10a)	備考	土壌改良材	粒状苦土石灰 M-10	100	小麦は酸性土壌を嫌うため、石灰質資材を必ず施用する。 元肥目安として 7~8 kg/10 a とする。	基肥	ゴールドワン 555	50	対象	使用資材	処理方法	雲形病・条斑病・なまぐさ黒穂病・裸黒穂病・斑葉病	ベンレート T 水和剤 20	粉衣 乾燥種子重量の 0.5%	使用時期	処理方法	除草剤名	対象雑草	薬剤量 (10a 当)	散布液量 (10a 当)	耕起又はは種前 ※は種前に雑草が目立つ場合	茎葉処理	タッチダウン iQ	イネ科、広葉	250~500 ml	25~100ℓ	は種後出芽前	土壌処理	ボクサー	イネ科、広葉	500 ml	100ℓ	雑草生育初期 (穂ばらみ期まで)	茎葉処理	アクチノール乳剤	イネ科、広葉	100~200 ml	100ℓ	収穫 45 日前まで	茎葉処理	バサグラン液剤	広葉	100~200 ml	100ℓ	使用資材名	施用量 (チッソ成分)	硫 安	10kg/10a (2.09kg/10a)	主要資材名	施用量 (チッソ成分)	硫 安	10kg/10a (2.09kg/10a)	尿 素	5kg/10a (2.3kg/10a)	防除時期	対象病虫害	薬剤名	倍数	散布液量 (10a 当)	11 月中~下旬	紅色雪腐病・雪腐小粒菌核病	オキシンドー水和剤	400 倍	100~200ℓ	発生初期	うどんこ病・赤さび病	ストロビーフロアブル	2,000~3,000 倍	60~150ℓ	出穂期前後	アブラムシ・アワヨトウ	スミチオン乳剤	1,000 倍	60~150ℓ	開花始め	赤かび病	トップジン M 水和剤	1,000~1,500 倍	60~150ℓ	上記防除の 7 日後	赤かび病	トリフミン水和剤	1,000~2,000 倍	60~150ℓ
種類	資材名	施用量 (kg/10a)		備考																																																																																						
土壌改良材	粒状苦土石灰 M-10	100		小麦は酸性土壌を嫌うため、石灰質資材を必ず施用する。 元肥目安として 7~8 kg/10 a とする。																																																																																						
基肥	ゴールドワン 555	50																																																																																								
対象	使用資材	処理方法																																																																																								
雲形病・条斑病・なまぐさ黒穂病・裸黒穂病・斑葉病	ベンレート T 水和剤 20	粉衣 乾燥種子重量の 0.5%																																																																																								
使用時期	処理方法	除草剤名		対象雑草	薬剤量 (10a 当)	散布液量 (10a 当)																																																																																				
耕起又はは種前 ※は種前に雑草が目立つ場合	茎葉処理	タッチダウン iQ		イネ科、広葉	250~500 ml	25~100ℓ																																																																																				
は種後出芽前	土壌処理	ボクサー		イネ科、広葉	500 ml	100ℓ																																																																																				
雑草生育初期 (穂ばらみ期まで)	茎葉処理	アクチノール乳剤		イネ科、広葉	100~200 ml	100ℓ																																																																																				
収穫 45 日前まで	茎葉処理	バサグラン液剤		広葉	100~200 ml	100ℓ																																																																																				
使用資材名	施用量 (チッソ成分)																																																																																									
硫 安	10kg/10a (2.09kg/10a)																																																																																									
主要資材名	施用量 (チッソ成分)																																																																																									
硫 安	10kg/10a (2.09kg/10a)																																																																																									
尿 素	5kg/10a (2.3kg/10a)																																																																																									
防除時期	対象病虫害	薬剤名	倍数	散布液量 (10a 当)																																																																																						
11 月中~下旬	紅色雪腐病・雪腐小粒菌核病	オキシンドー水和剤	400 倍	100~200ℓ																																																																																						
発生初期	うどんこ病・赤さび病	ストロビーフロアブル	2,000~3,000 倍	60~150ℓ																																																																																						
出穂期前後	アブラムシ・アワヨトウ	スミチオン乳剤	1,000 倍	60~150ℓ																																																																																						
開花始め	赤かび病	トップジン M 水和剤	1,000~1,500 倍	60~150ℓ																																																																																						
上記防除の 7 日後	赤かび病	トリフミン水和剤	1,000~2,000 倍	60~150ℓ																																																																																						
9	上 中 下	土づくり 播種 除草剤散布																																																																																								
10	上 中 下																																																																																									
11	上 中 下	雪腐病防除																																																																																								
12	上 中 下																																																																																									
1	上 中 下																																																																																									
2	上 中 下																																																																																									
3	上 中 下	追肥																																																																																								
4	上 中 下	追肥																																																																																								
5	上 中 下	除草剤散布 追肥 病害防除																																																																																								
6	上 中 下																																																																																									
7	上 中	収穫																																																																																								



赤かび病